

経営比較分析表（平成30年度決算）

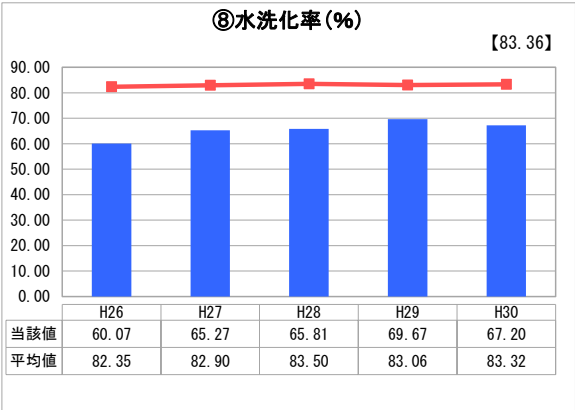
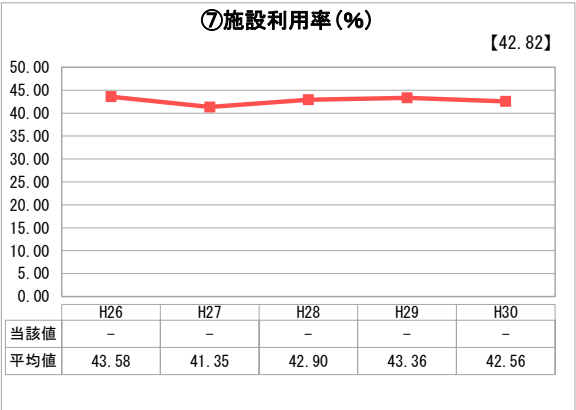
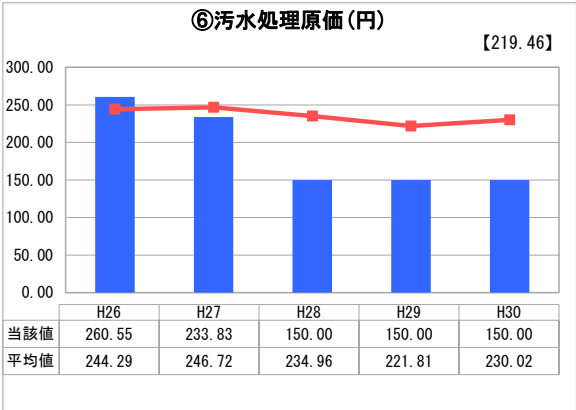
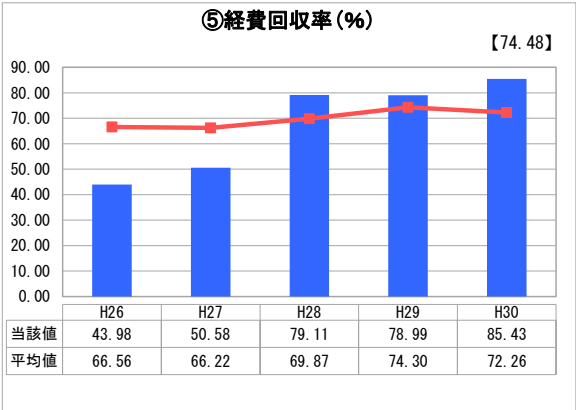
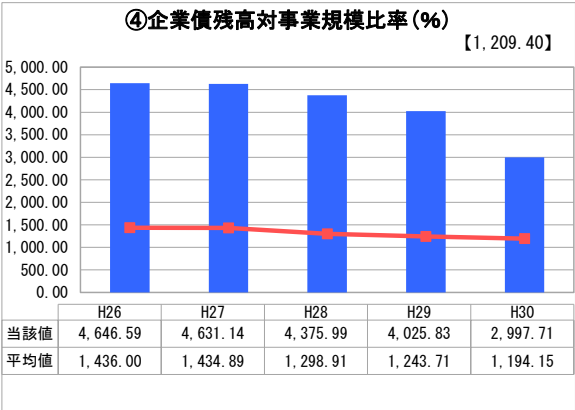
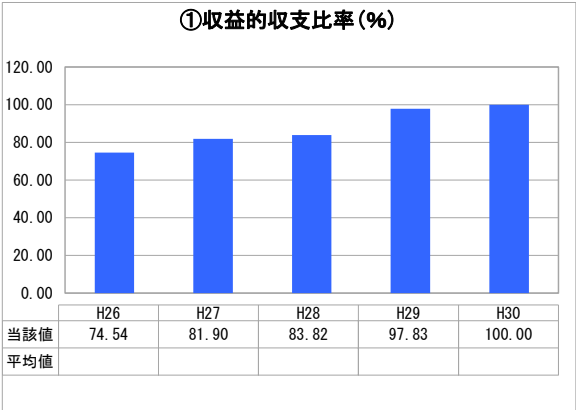
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.49	101.32	2,106

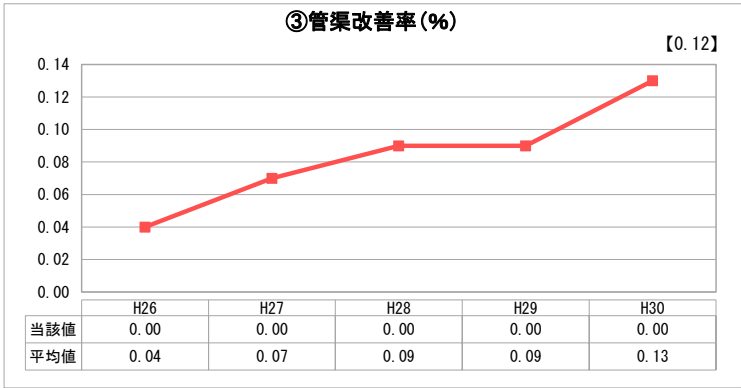
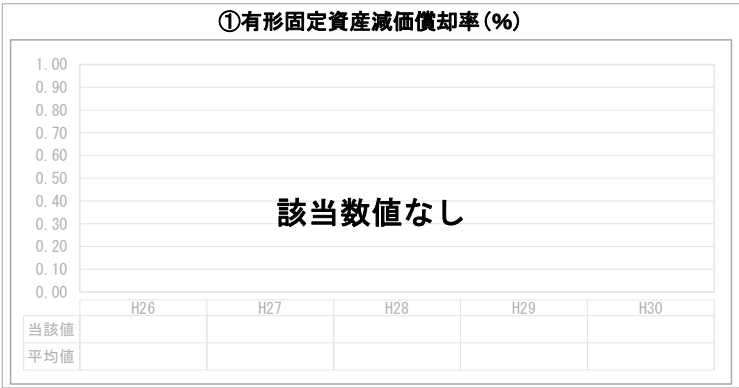
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,168	38.64	496.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,381	1.08	2,204.63

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
使用料収入の増加する一方で、総費用に大きな変化がないため増加した。
- ④企業債残高対事業規模比率
地方債残高の増加の割合以上に使用料収入の増加の割合が大きいため、減少傾向である。
- ⑤経費回収率
管渠等の整備を進めており、汚水処理関係の地方債償還金は増加しているが、それ以上に使用料収入の増加の方が大きいため、昨年度と比べ比率は向上した。
- ⑥水洗化率
例年と大きな変化はない。

2. 老朽化の状況について

現在のところ、管渠等の老朽化は見られない。

全体総括

収益的収支比率や経費回収率など従前と比べ改善した数値があるなど、改善傾向はあるものの、依然として改善が必要である。接続を促進し、使用料収入を上げることにより、これらの数値の向上が期待できると思われる。今後、接続促進や経費節減に加え、必要に応じてストックマネジメントや経営戦略の見直し等を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。